



## リサイクル最適化へのアプローチ

産業廃棄物の資源化と向き合い、循環型社会をリアルサポート。

## 変わり続けること。めざすべきこと。

地球環境問題やエネルギー問題、国際情勢の不安定化など

私たちは激しい変化の中にあります。

時代の要請に応える変革に取り組みながら、  
同時に豊かな未来を描くことが求められています。

クマクラは、建設系廃棄物の収集・運搬・中間処理を担っています。

また、ご要望に応じて解体工事から行う一貫処理体制も確立。

産業廃棄物の処理を通して、地域や社会に貢献するために、

私たちは、リサイクルの最適化を追求しています。

## Greeting

## サステナブル社会の 実現のために 進化し続けることで 貢献する

株式会社クマクラは、1958年に一般貨物運送業として創業し、その後『環境とリサイクル社会をサポートする』ことを使命に、半世紀以上産業廃棄物の適正化に取り組んでいます。

自社所有の所沢エコ・プラントは、1982年より最終処分場としてスタートしました。埋め立て完了後は、積替え保管施設として活用。2022年には施設の規模を拡大し、多品目破砕処理棟を新設。中間処理能力の質と量を大幅に向上させています。時代のニーズに応えた中間処理施設へとリニューアルを行い、現在に至っています。

私たちを取り巻く外部環境は大きく変化し、気候変動による災害も地球上のあらゆる地域で起きています。今や脱炭素社会や循環経済への取り組みは、世界共通の課題として捉えられています。当社は、所沢エコ・プラントの処理品質の向上によって、サーキュラーエコノミーの一翼を担えると考えています。また、より効率的に運営するために、プラント内の改良も継続的に行っています。SDGsへの取り組みも具体的な成果が見え、より方向性が明確になってまいりました。

私たちは、安心できる未来に向けた環境技術を誠意を持って次世代へ継承していくことをめざしています。

『楽業偕悦』ということばがあります。志を持った仲間と共に、業(仕事)を楽しみ、困難を仲間と分かち合いながら、喜びを共にしよう、という意味の造語で、ある企業の社是です。とても共感できるいい言葉だと感じ、折に触れて社員に話すことがあります。

仕事は楽しみながら、困難も分かち合いながら、クマクラだから可能な社会貢献をめざしていきたい、そう考えています。



代表取締役社長  
熊倉毅

# 産業廃棄物の一貫処理体制で、より効率的に減量化を推進いたします

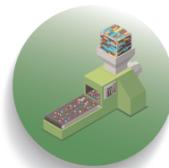
お客様のご要望に合わせて解体工事からの一貫処理も行っています。

建設系産業廃棄物の処理を担っています。



### 収集・運搬

一都八県(埼玉・東京・神奈川・千葉・茨城・栃木・群馬・山梨・長野)で収集・運搬事業を展開しています。



### 中間処理(リサイクル)

車両による収集運搬、またはお客様から持ち込まれた産業廃棄物は、各処理工程を経て適正処理を行い資源化しています。



### 解体工事

一般建設業解体工事の許可業者として、ご要望に応じて解体から処理まで一貫して請け負うことが可能です。

## 埼玉県3S運動に登録。また3S運動と連動させて、「環境」や「働きがい」に関わるSDGs目標をめざしています

埼玉県が推進する「3S運動」に当社も参加しています。3S運動とは、スマイル・セイケツ・スタイルから取った3つのSであり、産業廃棄物処理業のイメージアップを図る運動です。当社はこれまで最優秀賞の表彰を受けるなど、自社だけでなく業界全体のイメージアップに貢献しています。この3S運動に連動するカタチで、2020年からは、SDGsにも取り組んでいます。当社は、17ゴール中、環境・エネルギー関連や働きがい、パートナーシップをめざす6ゴールを目標に定めています。

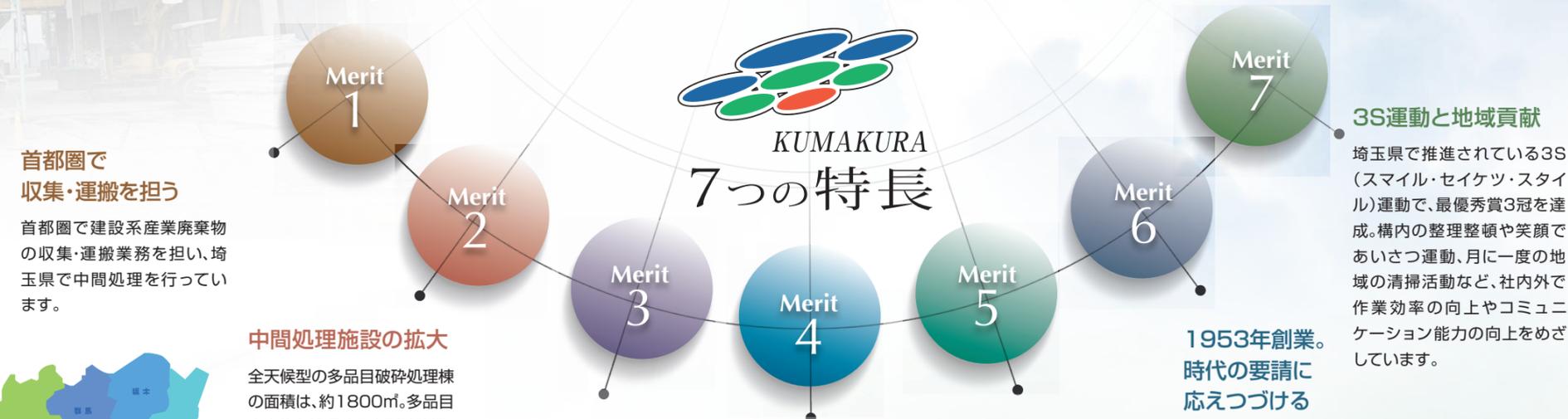


## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

<b>3</b> すべての人に健康と福祉を	<b>4</b> 質の高い教育をみんなに	<b>5</b> ジェンダー平等を実現しよう
<b>7</b> エネルギーをみんなにそしてクリーンに	<b>8</b> 働きがいも経済成長も	<b>17</b> パートナーシップで目標を達成しよう

# 産業廃棄物処理のあらゆるプロセスでさらなる最適化に取り組んでいます

処理能力の大幅な向上で、より多くのお客様のご要望に応える施設になった所沢エコ・プラント。クマクラならではのサービス品質をお届けします。

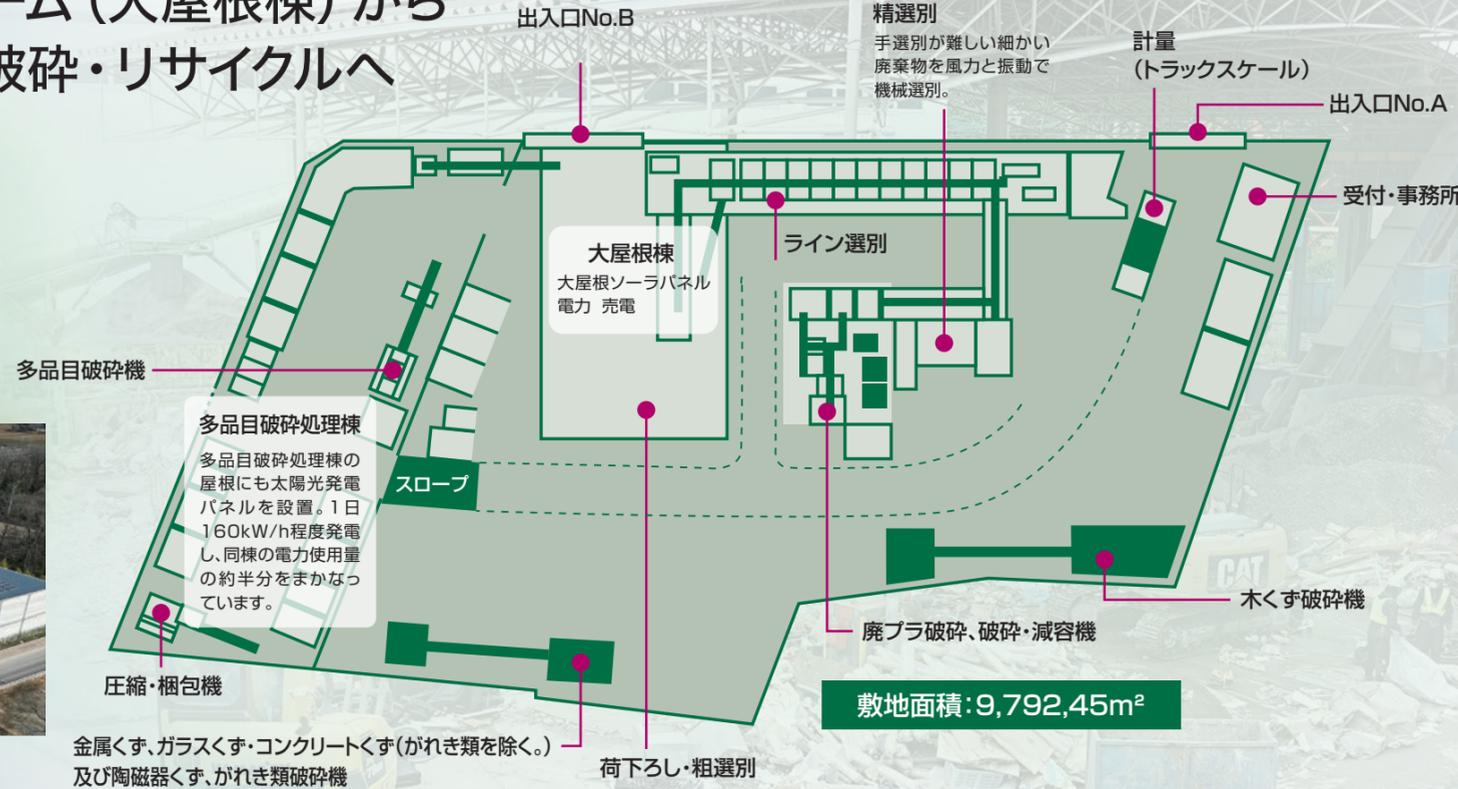


## 敷地中央のプラットホーム（大屋根棟）から 一気に展開して選別・破碎・リサイクルへ

建設系廃棄物は品目が多く、軽量物から重量物まで幅広く、排出量も膨大です。所沢エコ・プラントでは、柔軟な受け入れ体制で対応しています。

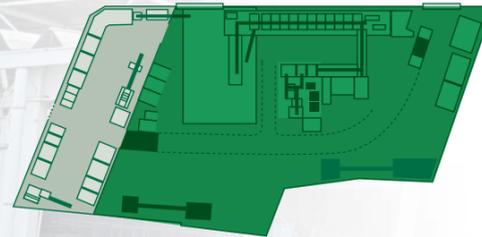


太陽光パネルを設置



処理施設の種類及び能力		
廃棄物の種類	施設の種類	処理能力
金属くず、ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く。) 及び陶磁器くず、がれき類 以上3種類	破碎施設	320.00t/日(8時間)
廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず	破碎・減容施設	5.02t/日(8時間)
廃プラスチック類	破碎施設	3.70t/日(8時間)
木くず	破碎施設	4.80t/日(8時間)
廃プラスチック類	圧縮・梱包施設 (多品目破碎処理棟)	369.30t/日(10時間)
紙くず		404.60t/日(10時間)
繊維くず		180.60t/日(10時間)

処理施設の種類及び能力		
廃棄物の種類	施設の種類	処理能力
廃プラスチック類	破碎施設 (多品目破碎処理棟)	42.80t/日(10時間)
紙くず		49.00t/日(10時間)
木くず		89.80t/日(10時間)
繊維くず		29.40t/日(10時間)
ゴムくず		42.40t/日(10時間)
金属くず		92.20t/日(10時間)
ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く。) 及び陶磁器くず 以上1種類		244.80t/日(10時間)
がれき類		301.90t/日(10時間)



## 重量物が多いのも建設系廃棄物の特徴。 人手+機械選別の処理効率が向上しています

バリオセパレーターによる機械選別と人手の組み合わせによって、効率化と選別精度アップが同時に実現しています。多品目破碎処理棟と連動させて、さらに無駄のない工程管理に取り組んでいます。

### バリオセパレーター選別設備

バリオセパレーターは、選別が困難だった建設系混合廃棄物を、高い精度で選別することを可能にした機械式の廃棄物選別機です。RPF原料の選別・廃プラスチックの選別や掘り起し材の選別など、多種多様なリサイクルの前処理に対応します。



ジャンピングスクリーン

### 木くず破碎プラント

破碎された木くずは木質チップとなり、再資源化されます。



コンベア(ライン選別エリア)

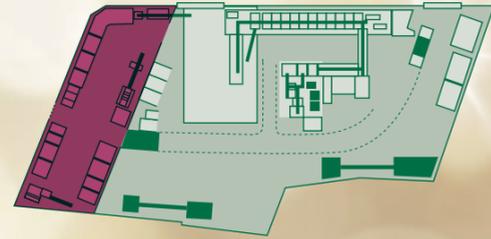


木くず用破碎機

SDGsの目標と向き合い、再資源化率の向上に努めています。長年のノウハウを基に最新設備を導入。再資源化の可能性を年々拡大しています。



RPFプラント



# 建設系混合廃棄物や処理困難物にも対応。 建屋内で受入れからリサイクル処理まで行います

所沢エコ・プラント内の多品目破碎処理棟では、建設系混合廃棄物などの受入れ量も増加しています。  
廃棄物の減量化に大きく貢献いたします。



屋内全景



破碎機



破碎機内部



破碎機コンベア

多品目破碎処理棟の中には選別ヤードが並びます。圧縮梱包機や総量6tの輸送が可能なエプロンコンベアも設置されています。



多品目破碎処理棟外観



粉塵防止ミスト



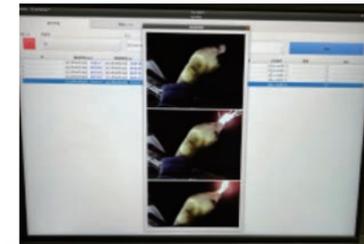
定量供給エプロンコンベア



圧縮梱包機。古紙・廃プラ・金属くず・段ボール・ビニル類・硬質プラスチックに対応

## リチウムイオン電池の発火に「火花検知システム」

廃棄物中に混入しているリチウムイオン電池は、発火する危険性があり火災原因となります。当社では火花検知システムSpark Eyeを導入。監視カメラからの画像をAI画像認識技術で火災検知し、0.05秒以下の速度で警報設備や散水設備が稼働します。



## Recycling product

リサイクル製品



再生碎石(コンクリート)



再生砂(コンクリート)



廃プラ(フラフ)



燃料チップ(木くず)



RPF(廃プラ・紙くず・木くず・繊維くず)



再生古紙(紙くず)



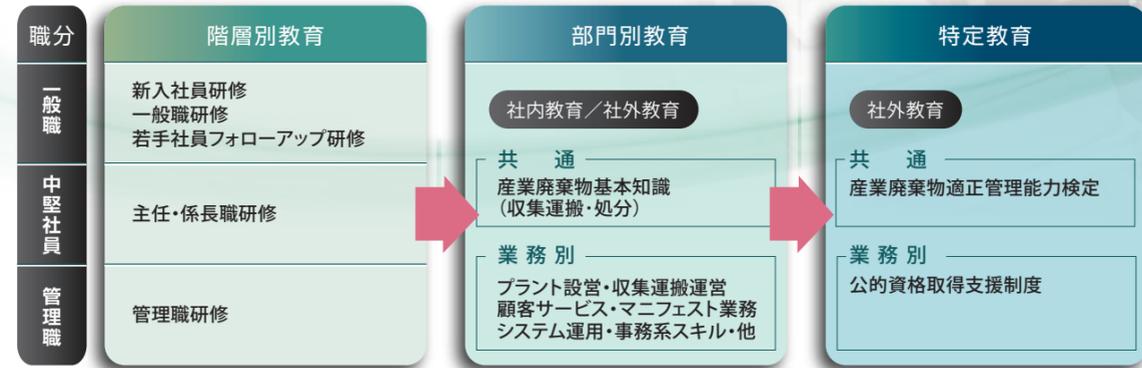
金属(金属くず)

# 巨大な設備の工程で “マテリアルリサイクル”技術を進化させる

限りある資源の枯渇を抑制するために、私たちは“次にできること”を探して設備の最適化を進めています。

**人材育成方針** 一人ひとりが目的意識をもって取り組み、その必要性を意識した上で能力開発に取り組んでいく。

**教育研修体系の紹介** 階層別、部門別、特定教育の3つの教育研修プログラムでリアルなキャリア形成をサポートしていきます。



採用ページは  
こちら



## 設備を効率的に機能させるために

さまざまな建設廃棄物をリサイクルするためには、設備を効率的に機能させ、分別する精度を上げることが重要です。この分別する技術には、それぞれの中間処理事業者の経験と知識が込められています。当プラントも、現場固有の条件を満たす設計を模索し続けています。

## 社員の技術力向上をサポート

当社の若手社員は、プラント内の装置の構成や施工管理にもさまざまに関わっています。営業で、企画で、事務職で…あらゆる職種で新たなアイデアや提案、実行力を求めています。もちろん技術の習得や資格取得には、バックアップ体制があります。



## 主な資格取得者

破砕・リサイクル施設技術管理士  
危険物取扱者(甲種)  
公害防止管理者(一般粉じん)  
第一種衛生管理者  
足場の組立て等作業主任者  
コンクリート造の解体等作業主任者  
運行管理者  
整備管理者  
ショベルローダー等  
破砕リサイクル施設技術管理士

石綿取扱い作業従事者特別教育修了者  
石綿取扱い作業主任者技能講習修了者  
職長・安全衛生責任者教育修了者  
車両系建設機械運転技能講習修了者(整地運搬等)  
車両系建設機械運転技能講習修了者(解体用)  
フォークリフト運転技能講習修了者  
小型移動式クレーン運転技能講習修了者  
玉掛技能講習修了者  
ガス溶接技能講習修了者  
アーク溶接特別教育技能講習修了者

ホイストクレーン特別教育講習修了者  
ISO14001内部環境監査員養成研修修了者  
粉じん作業特別教育  
産業廃棄物処理業許可申請に関する講習修了者(処分)  
産業廃棄物処理業許可申請に関する講習修了者(収集運搬)



KUMAKURA

楽業偕悦



環境とリサイクル社会をサポートする

株式会社 **クマクラ**

## 本社

〒352-0012 埼玉県新座市畑中 3-1-5

Tel. 048-479-0391(代表) Fax.048-479-0446

メールアドレス eco@kk-kumakura.jp



## 所沢エコ・プラント

〒354-0045 埼玉県入間郡三芳町上富 1600-3

Tel. 049-258-2851 Fax. 049-259-0987

メールアドレス tokorozawa-eco@kk-kumakura.jp



<https://kumakura.biz/>

会社概要

商号 株式会社クマクラ

創業年月日 昭和28年3月1日

設立年月日 昭和48年2月15日

資本金 3,000万円

関連会社 SHICHIYOHホールディングス(株)

所在地

本社

〒352-0012  
埼玉県新座市畑中 3-1-5  
TEL : 048-479-0391 (代表)

所沢エコ・プラント

〒354-0045  
埼玉県入間郡三芳町上富 1600-3  
TEL : 049-258-2851

経営理念 (基本方針)

環境とリサイクル社会をサポートする  
安心できる未来の環境を技術と誠意で創造する  
楽業偕悦 (らくぎょうかいえつ)

主要取引先

大和ハウス工業(株)、東鉄工業(株)、  
日建リース工業(株)、(株)NIPPO、(株)フジタ、  
木徳神糧(株) ほか  
東京・埼玉などの主に首都圏の建設関連会社

主要取引銀行

三井住友銀行、武蔵野銀行、埼玉りそな銀行、  
群馬銀行、東京信用金庫 ほか

許可品目

産業廃棄物処分業 収集運搬業 許可品目一覧

業の種類	処分業	収集運搬業	収集運搬業	収集運搬業	収集運搬業	収集運搬業	収集運搬業	収集運搬業	収集運搬業	収集運搬業	収集運搬業
許可地	埼玉県	埼玉県	東京都	千葉県	神奈川県	群馬県	山梨県	茨城県	長野県	栃木県	いわき市
許可番号	01120006760	01110006760	1300006760	01200006760	01402006760	01000006760	01900006760	00801006760	2009006760	00900006760	09400006760
燃え殻	-	◎	○	○	○	○	-	-	○	○	-
汚泥	-	○	○	○	○	○	-	-	○	○	-
廃油	-	○	○	○	○	○	-	-	-	○	-
廃酸	-	○	○	○	○	○	-	-	-	○	-
廃アルカリ	-	○	○	○	○	○	-	-	-	○	-
廃プラスチック類	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
紙くず	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
木くず	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
繊維くず	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
動植物性残さ	-	◎	○	○	○	○	-	-	-	○	-
ゴムくず	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
金属くず	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ガラス・コンクリートくず及び陶磁器くず	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鉱さい	-	○	○	○	○	○	-	-	-	○	-
がれき類	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ばいじん	-	○	○	○	○	○	-	-	-	○	-

◎：積替保管を含む

解体工事業、再生事業許可一覧

業の種類	許可地	許可番号
一般建設業(解体工事業)	埼玉県	般-3) 第70253号
再生事業者(古紙の再生、がれき類等の再生)	埼玉県	(II-44)

## 沿革

**昭和28年 3月 1日**

東京都中野区にて一般貨物自動車運輸業熊倉運送店を開設

**昭和48年 2月15日**

資本金380万円で法人組織「株式会社熊倉運送店」を創立

**昭和51年～昭和57年**東京都知事、横浜市長、埼玉県知事、千葉県知事、川崎市長、  
神奈川県知事より、産業廃棄物処理業（収集運搬）許可**昭和55年 7月25日**

東京都中野区より埼玉県新座市に本社を移転

**昭和57年 9月 6日**

埼玉県入間郡三芳町に最終処分場、三芳事業所を開設

**昭和60年～昭和63年**群馬県知事、茨城県知事、山梨県知事、長野県知事より  
産業廃棄物処理業（収集運搬）許可**昭和63年 12月15日**

資本金4,000万円に増資

**平成 1年 4月 1日**

本社（事務所・修理工場車庫・寮）を現在地とし、新社屋完成

**平成 6年 7月 1日**

三芳中間処理センター（焼却・破砕施設）開設

**平成 8年 1月 1日**

株式会社 熊倉運送店を、株式会社 クマクラへ社名変更

**平成 9年 1月29日**埼玉県知事より産業廃棄物処理業変更許可申請許可  
処理施設総面積6,274㎡**平成 10年 11月30日**大気汚染防止法の改正によりダイオキシン対策として  
集塵装置バグフィルタを設置**平成 13年 1月 6日**

焼却炉 廃止

**平成 13年～平成 19年**栃木県知事、いわき市長、相模原市長、船橋市長より  
産業廃棄物処理業（収集運搬）許可**平成 14年 7月29日**

資本金6,000万円に増資

**平成 16年 11月19日**

JIS Q14001 (ISO 14001) 認証取得

**平成 19年 4月 9日**

収集運搬業及び処分業の電子マニフェスト加入、利用開始

**平成 21年 12月24日**

東京都「廃プラスチック類の埋立てゼロに関する協定」締結

**平成 22年 2月10日**産業廃棄物処理業者の第三者評価制度において、  
産廃プロフェッショナル認定**平成 23年 12月 1日**産業廃棄物処理業者の第三者評価制度において、  
産廃エキスパート認定《収集運搬業（積替え保管を除く）》**平成 24年～平成 28年**平成23年度貨物自動車運送事業安全性評価事業において  
安全性優良事業所認定。（Gマーク認定）。その後も、神奈川県、  
東京都、山梨県、茨城県、栃木県、長野県他で、  
産業廃棄物収集運搬許可更新と同時に優良認定を取得**令和 4年 11月29日**埼玉県知事より産業廃棄物処理業変更許可申請許可。  
「破砕施設の追加、圧縮梱包機の入替え、事業場の拡大」に変更。**令和 6年 3月15日**

資本金3,000万円に減資

以上

認証・CSR活動

認証

クマクラは環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001の取得をはじめ、環境保全活動に積極的に取り組む企業として活動しています。

- 2004年 ISO14001 認証取得
- 2013年 安全性優良事業所認定 (Gマーク)
- 2014年 産業廃棄物処分・収集運搬優良認定 (埼玉県)
- 2015年 産廃エキスパート認定 (東京都) 他

SDGsへの取り組み

「環境とリサイクル社会をサポートする」を企業理念とし、課題に取り組んでいます。



- 3S運動 スマイル、セイケツ、スタイル
- 5S運動 整理・整頓・清掃・清潔・躰
- 災害復旧支援 埼玉県の災害廃棄物処理 など

CSR活動

クマクラでは、以下のような「基本行動方針」を定め、社会や環境と共存しながら企業活動に取り組んでいます。

当社は、産業廃棄物処理業及び一般貨物自動車運送事業及び解体工事業を主たる業務とし、その事業活動を通じて環境に及ぼす影響を考えた行動を実践し循環型社会の実現に努め次世代と未来環境に向け行動します。

- 1 継続的改善と汚染防止に努め、環境負荷の低減対策を推進します。
- 2 関連する法律・条例・規則を遵守するほか、当社が同意した他の要求事項を守り、自主管理活動を通じて環境管理レベルの向上を図ります。
- 3 環境マネジメントシステムを構築し運用するために具体的な目的・目標を明確にし、状況変化に応じた見直しを図ります。
  - ① 廃棄物の適正処理ならびに減量化、再資源化の推進に努めます。
  - ② 技術的、経済的な検討を加えることによって、処理施設の粉じん対策及び重機、車両の排ガス低減対策、廃棄物飛散の防止等、環境汚染の防止に努めます。
  - ③ 廃棄物分別提案やそのサービスを通じ顧客の拡大に努めます。
  - ④ 社内教育並びに外部研修等の社員教育の充実を図り、意識的、技術的向上に努め、全ての部門において資源の有効活用及び省エネルギー・省資源化に取り組みます。
- 4 この環境方針は、全従業員に周知させると共に社外などの要求に対しても開示し、環境行動を通じて地域社会との共生を目指します。

車両・機材

大型廃棄物用のダンプからコンテナ車まで、各産業廃棄物を適切に運搬するための車両を多数、保有しています。

※ L(長さ)・W(幅)・H(高さ)

車両



**3tユニック**

最大積載量 3.00t

基本積載容量 4<sup>m</sup>

L:607cm× W:190cm× H:257cm



**3tユニックロング**

最大積載量 2.60t

基本積載容量 11<sup>m</sup>

L:690cm× W:227cm× H:270cm



**7tユニック**

最大積載量 6.90t

基本積載容量 11<sup>m</sup>

L:814cm× W:235cm× H:304cm



**3tアームロール**

最大積載量 3.00t

基本積載容量 4<sup>m</sup>

L:435cm× W:169cm× H:199cm



**4tアームロール**

最大積載量 4.00t

基本積載容量 8<sup>m</sup>

L:585cm× W:223cm× H:239cm



**4tダンプ**

最大積載量 4.00t

基本積載容量 6<sup>m</sup>

L:585cm× W:223cm× H:239cm



**10tアームロール**

最大積載量 10.80t

基本積載容量 27<sup>m</sup>

L:915cm× W:249cm× H:366cm

機材



**8<sup>m</sup>コンテナ**

基本積載容量 8<sup>m</sup>

L:370cm× W:211cm× H:120cm

**4<sup>m</sup>コンテナ**

基本積載容量 4<sup>m</sup>

L:300cm× W:153cm× H:90cm



**2<sup>m</sup>Box**

基本積載容量 2<sup>m</sup>

L:210cm× W:95cm× H:120cm

**1<sup>m</sup>Box**

基本積載容量 1<sup>m</sup>

L:115cm× W:95cm× H:115cm



**コロBox**

L:90cm× W:86cm× H:130cm

### 搬入～粗選別



#### 入場・計量

搬入・トラックスケールにて計量



#### 積荷数量確認

査定員が積荷確認数量測定



#### 荷下ろし

ダンプアップ



#### 展開検査

受入禁止物がないか展開検査



#### 粗選別

リサイクル可能なものを取り除く



選別したものは各中間処理工程へ

### 混合廃棄物選別ライン



#### 混合廃棄物



#### 廃棄物投入



#### トロンメル

40mmアンダーの土砂を取り除く  
40mmアンダーの土砂は「精選別ライン」へ



#### 1次手選別

リサイクル可能なものを取り除く



#### バリオセパレーター

機械式比重差選別  
重量物・軽量物・細粒物に選別



#### 2次手選別

リサイクル可能なものを取り除く  
残渣物は「精選別ライン」へ

### 精選別ライン



#### トロンメル選別40mmアンダー品



#### ジャンピングスクリーン

4mmアンダーの土砂を取り除く



#### 比重差選別機

重量物・軽量物・網下品に選別



#### 円筒篩機

網下品より異物を除去



#### 選別後精選砂

リサイクル施設にて再資源化

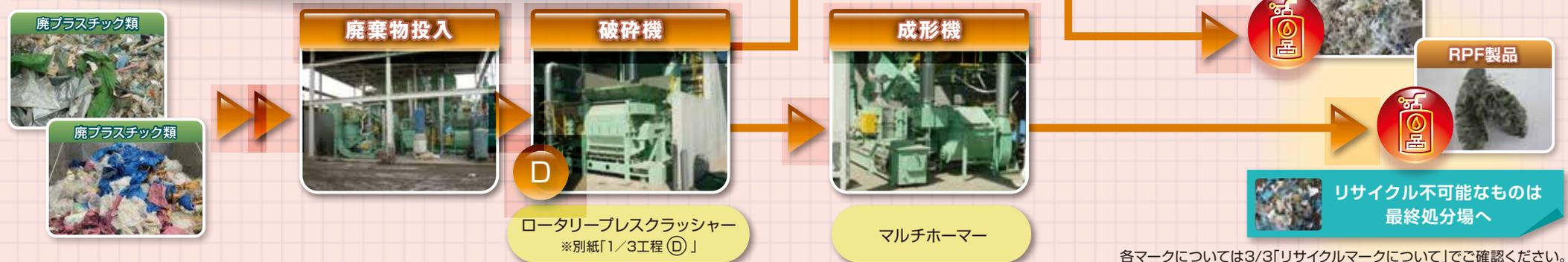
### がれき類・ガラス陶磁器くず・金属くず 破砕施設



### 木くず 破砕施設



### 廃プラスチック類等 破砕・減容施設



### 多目的破碎施設



### 破碎機(二軸解砕機)



※産業廃棄物処理工程1/3 (A) の施設

### 搬送コンベア



### 既設選別ラインへ



### 圧縮梱包施設



※産業廃棄物処理工程1/3 (C) の施設



### リサイクルのマークについて

リサイクル品をアイコンで表記しています。

